



平成 21 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 7 月 9 日

上場会社名 古野電気株式会社 上場取引所 大証一部
 コード番号 6814 URL <http://www.furuno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 井澤 亮三 TEL (0798)63-1017

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第1四半期	22,991	3.7	2,260	21.1	2,244	4.7	1,228	△9.2
20年2月期第1四半期	22,170	13.9	1,867	43.9	2,143	52.4	1,353	50.2
20年2月期	94,061	—	6,939	—	6,990	—	3,062	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第1四半期	38	94	—	—
20年2月期第1四半期	42	89	—	—
20年2月期	97	07	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期第1四半期	88,814		41,533		46.3	1,302	81	
20年2月期第1四半期	84,549		40,275		47.1	1,262	79	
20年2月期	90,652		41,347		45.0	1,293	55	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)	円 銭	円 銭	円 銭
20年2月期	6 00	8 00	14 00
21年2月期(予想)	7 00	8 00	15 00

3. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	49,000	3.9	3,800	△13.2	3,800	△23.0	2,000	△25.8	63	39
通期	98,000	4.2	6,300	△9.0	6,300	△9.9	3,300	7.7	104	60

(注) 業績予想につきましては、平成 20 年 4 月 18 日発表の数値を変更していません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明，その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の世界経済はアメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の広がりに加えて原材料価格が高騰し、各地域とも景気の減速傾向が続きました。当社関連市場においては、船用電子機器分野では世界的な海運需要の拡大に伴い新造船および換装の需要が高水準で推移しました。プレジャーボート市場は欧州では堅調であるものの米国では需要の落ち込みがみられました。産業用電子機器分野では、PND と呼ばれる簡易型カーナビの普及が全世界的に広がるなど GPS（全地球測位システム）の需要が拡大しました。

このような状況の中、当四半期の連結売上高は船用電子機器部門が好調を維持したことにより、22,991 百万円（前年同期比 3.7%増）となりました。利益面では、売上総利益率は生産性の向上に努めたことにより前年同期から 0.7 ポイント改善し 35.5%となり、売上総利益は 8,157 百万円（前年同期比 5.7%増）となりました。一方で、販売費および一般管理費は前年同期比で 0.8%の伸びに留まりました。この結果、営業利益は 2,260 百万円（前年同期比 21.1%増）、経常利益は 2,244 百万円（前年同期比 4.7%増）となりましたが、四半期純利益は減損損失が発生したことなどにより 1,228 百万円（前年同期比 9.2%減）となりました。

各部門別売上高の概況としましては、船用電子機器部門では、商船市場向け売上が中国をはじめ全世界で好調に推移し、衛星通信装置や衝突予防レーダーなどを中心に売上が増加しました。プレジャーボート市場向け売上は北米では低調でしたが、欧州では好調を維持しました。また漁業市場向け売上も増加したことから、同部門の売上高は 18,312 百万円（前年同期比 7.4%増）となりました。一方、産業用電子機器部門では、GPS 関連機器は売上が増加しましたが、医療用機器の販売が低調であり、ETC 車載器も売上が減少したことから同部門の売上高は 4,679 百万円（前年同期比 8.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

総資産は、前連結会計年度末と比較して 1,838 百万円減少し、88,814 百万円となりました。これは主に現金及び預金が 3,058 百万円減少し、たな卸資産が 1,655 百万円増加したことによるものであります。

(2) 負債

負債合計は、前連結会計年度末と比較して 2,024 百万円減少し、47,280 百万円となりました。これは主に短期借入金が 1,500 百万円減少したことによるものであります。

(3) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して 185 百万円増加し、41,533 百万円となりました。これは主に利益剰余金が 1,338 百万円増加し、為替換算調整勘定が 1,187 百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成 20 年 4 月 18 日付の「平成 20 年 2 月決算短信」発表時に公表しました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準及び税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円，%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成20年2月期 第1四半期末〕	〔平成21年2月期 第1四半期末〕	金 額	増減率	(平成20年2月期末) 金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	13,424	14,421	996	7.4	17,479
受取手形及び売掛金	23,724	25,604	1,879	7.9	24,824
たな卸資産	20,474	23,828	3,353	16.4	22,172
その他	3,736	3,953	216	5.8	5,077
流動資産合計	61,360	67,806	6,446	10.5	69,553
II 固定資産					
有形固定資産	10,016	9,789	△226	△2.3	10,320
無形固定資産	1,132	1,150	17	1.6	1,178
投資その他の資産	12,041	10,067	△1,973	△16.4	9,600
固定資産合計	23,189	21,007	△2,182	△9.4	21,098
資産合計	84,549	88,814	4,264	5.0	90,652
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	15,765	18,302	2,536	16.1	18,700
短期借入金	5,609	6,000	390	7.0	7,500
一年以内返済予定長期借入金	1,754	184	△1,570	△89.5	495
その他	7,594	9,635	2,040	26.9	9,301
流動負債合計	30,724	34,121	3,397	11.1	35,997
II 固定負債					
社債	526	262	△264	△50.2	262
長期借入金	3,027	3,486	458	15.2	3,519
その他	9,995	9,410	△585	△5.9	7,856
固定負債合計	13,549	13,158	△390	△2.9	13,306
負債合計	44,274	47,280	3,006	6.8	49,304
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	7,534	7,534	—	—	7,534
資本剰余金	10,073	10,073	—	—	10,073
利益剰余金	20,294	23,153	2,858	14.1	21,815
自己株式	△169	△174	△4	—	△173
株主資本合計	37,733	40,587	2,853	7.6	39,248
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	1,220	923	△296	△24.3	782
繰延ヘッジ損益	23	△23	△47	—	△4
為替換算調整勘定	867	△403	△1,271	—	784
評価・換算差額等合計	2,111	496	△1,615	△76.5	1,562
III 少数株主持分	430	450	19	4.5	536
純資産合計	40,275	41,533	1,257	3.1	41,347
負債，純資産合計	84,549	88,814	4,264	5.0	90,652

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円, %)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	〔平成 20 年 2 月期〕 第 1 四半期	〔平成 21 年 2 月期〕 第 1 四半期	金 額	増減率	(平成 20 年 2 月期) 金 額
I 売上高	22,170	22,991	821	3.7	94,061
II 売上原価	14,453	14,834	380	2.6	62,798
売上総利益	7,716	8,157	440	5.7	31,263
III 販売費及び一般管理費	5,849	5,896	47	0.8	24,323
営業利益	1,867	2,260	393	21.1	6,939
IV 営業外収益	331	264	△66	△20.2	1,024
受取利息及び配当金	177	129	△48	△27.1	558
その他	153	134	△18	△20.4	465
V 営業外費用	55	280	224	402.7	973
支払利息	31	33	2	7.4	185
その他	24	247	222	896.6	787
経常利益	2,143	2,244	101	4.7	6,990
VI 特別利益	27	49	22	81.9	61
VII 特別損失	0	216	215	—	809
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,169	2,077	△92	△4.2	6,242
税金費用	799	817	18	2.3	3,081
少数株主利益	17	31	14	85.5	97
四半期(当期) 純利益	1,353	1,228	△124	△9.2	3,062